



中央聖書神学校 Central Bible College

CBC後援会だより

共に労していただくこと

感謝します



CBC後援会会長 酒井 源次

(十条キリスト教会)

CBC後援会は牧師先生が創設され、信徒も共に働いて今日に至っています。

後援会は、「使徒の働きを継承するAGペンテコステ信仰を實踐し、宣教する伝道者となるためにCBCで学び訓練を受ける神学生」に奨学金を授与し経済的な支援をしています。そこで、敬愛するAGの皆様「奨学金の原資とするための会費を納めてCBC後援会会員になって下さい」とお願いする次第です。

私は、十条キリスト教会の細井修一牧師・説子先生に導かれ受霊、その後受洗しました。献身への招きを召命と覚えることなく23歳から70歳まで会社等に勤めました。AGならではのペンテコステ信仰による牧師の導き、聖日の礼拝、毎日の祈りが無くては勤め続けることはできませんでした。この体験から、AGの信仰を継承する教職者を格別の感謝を持って尊敬しています。というわけで、敬愛する神学生を教職者に準ずる方として支援するために後援会会員になって頂きたいと願います。

新体制メンバーの紹介

副会長 酒井 勝兄(東京アーバンチャーチ 献身者が安心して学べるために、後援会の働きに関わらせて頂きます。)



会計 佐々木功兄(めぐみ福音キリスト教会)



微力ではありますが後援会の活動が神様に祝福されますように祈り献じていきます。

書記 富山 均兄(十条キリスト教会)



書記 横須賀直人兄(中央聖書教会)

後援会スタッフはいつも楽し気な雰囲気です。皆さまも一緒にご奉仕しませんか。



「支援を感謝します」

神学生の証し



3年 坂田容子

後援会の皆様、いつも私たち神学生を支えて下さり、本当にありがとうございます。

献身の思いを持ちながらも、経済的な問題が解決しなければ、入学することができないのが現実問題です。私も、会社で正社員として働き、実家暮らしで、お金を貯めようと努力していましたが、入学資金のために貯めていた夏のボーナスも通勤に必要な車の保険料や、車検代、タイヤの買い替えに使ってしまい、思った様に貯金できずにいました。しかも、学費や寮費の分の貯金があれば大丈夫ではなく、実際にはそれ以外にも出費がかさみます。退職後も税金や保険料が高くてびっくりしてしまいました。また、国民年金の支払いなどで、自分の貯金が予定していたよりも大幅に減ってしまい、奨学金を借りることにしました。

お金の心配をせずに、神学校生活を送れるというのは、本当に感謝なことです。全寮制で、アルバイトをせずに勉強に専念できる環境が、この中央聖書神学校には整っているのです。これもひとえに後援会の皆様の支えがあつてのことです。

40歳を過ぎて学校に入学し、もしアルバイトをしながら勉強しなければならなかったら、勉強どころか体も壊してしまつていたと思えます。お陰様で、私は今まで生きてきた中で一番勉強が出来ていると思えます。また、学ぶことが楽しいと感じられるようになりました。ここでしっかりと学習する習慣を身につければ、実際の働きに出たときも続けて勉強できるようになると思えます。この中央聖書神学校には、勉強するための素晴らしい環境が備わっているのです。そして、それを整えてくださっているのが後援会の皆様なのです。皆様の献身と愛を受け取り、日本の宣教の現場に送り出されたならば、その愛に比べられるよう、全力で日本のリバイバルのために主に仕えていきたいと思つていきます。



2年 平松公平

2019年4月私達夫婦は、無事に神学校に入学することが出来ました。入学にあたり、幾つかの乗り越えなければいけない壁がありました。夫婦が揃つて献身することは素晴らしい恵みですが、経済的負担は倍となりました。特に私は、数年前に潰瘍性大腸炎という病気を患い、劇症化し、大腸を全摘出、2年間はまともに働くことができませんでした。病気により家計は圧迫されて働き始めるものの、どんなに財布を絞りに出しても、一人が入学できるだけの費用がやつとでした。母教会や家族は当然、応援してくれました。それでも必要の全てを賄うことはできません。

そんな折、後援会が大きな助けとなりました。長年、神学生を応援していただき、多くの実績を作っていただけでいた後援会が、私達の前に道を備えていてくださいました。

献身は、経済的問題以外にも幾つもの問題や不安があり、それ故に、その一歩が踏み出せず悩むことがあると思えます。そして、最終的には、それらを全て主に委ねることが

信仰と言えるのかも知れません。しかし、後援会が、既に私達の前にしっかりと根を下ろし、確固とした道を備えてくださっていたことも主の確かな導きであり、私達は夫婦揃つて神学校へと至ることが出来ました。後援会は、私達神学生の後方について、経済のみならず様々なバックアップをしてくださいました。しかし、私にとつてはしっかりとした道を備えてくださる、まさしく「前援会」となつてくださいました。これから献身者として、ある時は人の前に立ち引き上げる者として、ある時は、後方に回り押し上げるようになる者として、訓練と良き学びを続けたいと思えます。



感染症拡大防止策として入学式は急きょ中止となりました。共に学ぶ在校生一同と看板のみの入学式。



中央聖書学校校舎



▲旧女子寮 ▼旧男子寮



写真出典『みことばに立ち御霊に導かれて
—教団創立50年史—』

後援会の会員管理を担当する中で
思います。「全国220教会の中で
後援会の会員がいる教会は半数に
満たない。一体これはどうしてだろ
う」という疑問です。確かに経済的
に厳しい教会もありますが、礼拝出
席者が40名を超える教会も多数あ
ります。「教会から教団を通じて神
学校負担金を納めているのだから、
改めて信徒たちに後援会入会を推
奨して負担を掛けたくない」とい
う先生方の気持ちの表れなのか。い
つか私は「いっそ、後援会なんて、
無いほうが良いのでは。そうすれば、
教団立神学校なのだから、教団が責

任を持って神学校を支えるに違
ない」と思うようになりました。
そんな理由から「そもそも後援会
はどういう経緯で発足したのだろ
うか？」と教団や神学校の記念誌、
あるいは後援会の発足当時の役員
会議事録を調べました。
当校は1947年神召キリスト
教会にて米国宣教師団の献金でスタ
ート、1950年に駒込に移転し、
AG教団の中央聖書学校（現中央聖
書神学校）となりました。日本の諸
教会からの献金が増え、徐々に海外
献金の依存度は減少していき、19
74年に教団本部の土地や中央聖

献身者を支える一人になろう！

中央聖書神学校後援会発足の経緯

十条キリスト教会 富山 均



神学生の作業日（1973年5月）

書学校が無償譲渡され、自立化が可
能となりました。1976年神学校
の教科内容充実と設備面強化を図
り、「教団の伝道者育成学校」とし
て再スタートしました。しかしなが
ら、現実的には教団の補助金や諸教
会の負担金だけでは十分ではなか
ったようで、更に側面から財政援助
して頂く必要性が生じました。その
時、卒業生や有志が立ち上がり、後
援会を設立して支援を申し出まし
た。以来44年が経過し、約700名
の卒業生が全国の教会を開拓し、宣
教の拡大が今日も続いています。
本来であれば教会・信徒数の増大
に伴い経済が祝され「後援会の献金
」など不要になるのが望ましいです
が、与えられた神学校予算の中では
知恵を絞り学校運営に努力しても、
現実的には難しいのです。このよう

な背景から、今でも後援会会員の献
金と一人ひとりの熱い祈りは、無く
てはならない存在となっております。
昔、米国宣教師団に支えられていた
時代、献身を志す者は身一つで駒込
に入学すれば、一切の憂いなく伝道
者になれました。今は奨学金に加え、
寮費を借用できる「ダビデの石奨学
金」もありますが、いわば「借金」
を背負って宣教の現場に出て行く
こととなります。卒業生の中には、
経済的に厳しい教会に派遣される
ケースもあります。全てを投げ打ち
牧師を目指す者に対して「お金は一
円も無くても大丈夫！」そんなこと
を言えるように多くの信徒が参加
する後援会になれたらと祈ります。

CBCフォーカス

わたしたちは誰でしょう？



答えは、第14号で発表します
(2020年11月発刊予定)

後援会会員増強の秘訣

受けるよりも与えるほうが幸い

中村福音キリスト教会 伝道師 松本恭介



5年前の5月に、峰田将前会長が会員増強のお勧めに四国を巡回してくださいました。

CBC後援会は教会と教団との仲立ちになって、神学生を多方面でサポートしてくださることに心から感謝致します。

ある時一人の姉妹から「CBCの後援会に入っていただけじゃないか。」と声をかけられました。二つ返事で「はい」と答えてから後援会費が必要であることを知りました。姉妹は、教会の人たちに後援会に入ってくださいるように声をかける

だけでなく、後援会費が捧げられやすいように工夫して、五百円ずつ10ヶ月で捧げられる封筒を作ってくださいました(2016年11月9日後援会だよりの証)。その封筒を用いるようになって捧げる方が増えるようになりました。そして、年末に個人単位ではなく、まとめて後援会にお送りしています。聖書に『受ける』より『与える』ほうが幸いである』と書かれています。神さまから愛を受け取った人は、その愛を、人に分け与える人となってください。中村教会では、後援会だけでなくダビデの石等にも多くの方が祈りつつ捧げてくださっています。受けるよりも、与えることが幸いなのです。



峰田将前会長(当時)

2020年度 会員数・会費納入状況 (1月～4月)

区分	年間計画		実績		計画対比		
	会員数	会費(円)	会員数	会費(円)	会員数	会費(円)	会費進捗
法人会員	7	300,000	2	200,000	-5	-100,000	67%
教会会員	50	1,000,000	20	313,000	-30	-687,000	31%
個人会員	280	1,700,000	103	755,000	-177	-945,000	44%
賛助会員	50	100,000	22	29,000	-28	-71,000	29%
合計	387	3,100,000	147	1,297,000	-240	-1,803,000	42%

会員募集

お誘いあわせて入会しましょう!

これからもお祈りとお支援を よろしく願っています

献身者が経済的な憂いがないように支援の輪に加わりましょう

- 今年の献金計画は310万円。4月までに130万円の献金があり、180万円不足となっています。
- 会費納入は例年より早めにお願います。
- 新型コロナウイルスの影響によって、神学校も行事の中止、日曜派遣の縮小、ネット授業への対応など、神学生は制約の中で日々の学習・活動に励んでいます。
- 後援会も高齢化が進んでおり、個人・賛助会員数が減っています。昨年約20名が退会となり、危機感を抱いています。
- 神学校のために祈り・献げる喜びを分かち合うため、是非、周りの方に後援会入会をお勧めください。
- 「後援会だより」や郵便局の払込取扱票が必要でしたら、ご遠慮なく左記にお問い合わせください。

発行日 2020年6月1日

印刷所 ベーテルフォト印刷株

編集 後援会委員会

〒117-0100 東京都豊島区駒込3-15-20
中央聖書神学校後援会
TEL 03-3918-4925
FAX 03-3918-4064
E-mail cbc@sgj.or.jp